

第2期
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(デジタル田園都市国家構想の実現に向けて)
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～
令和6年度進捗状況報告書

令和7年8月
射 水 市

目 次

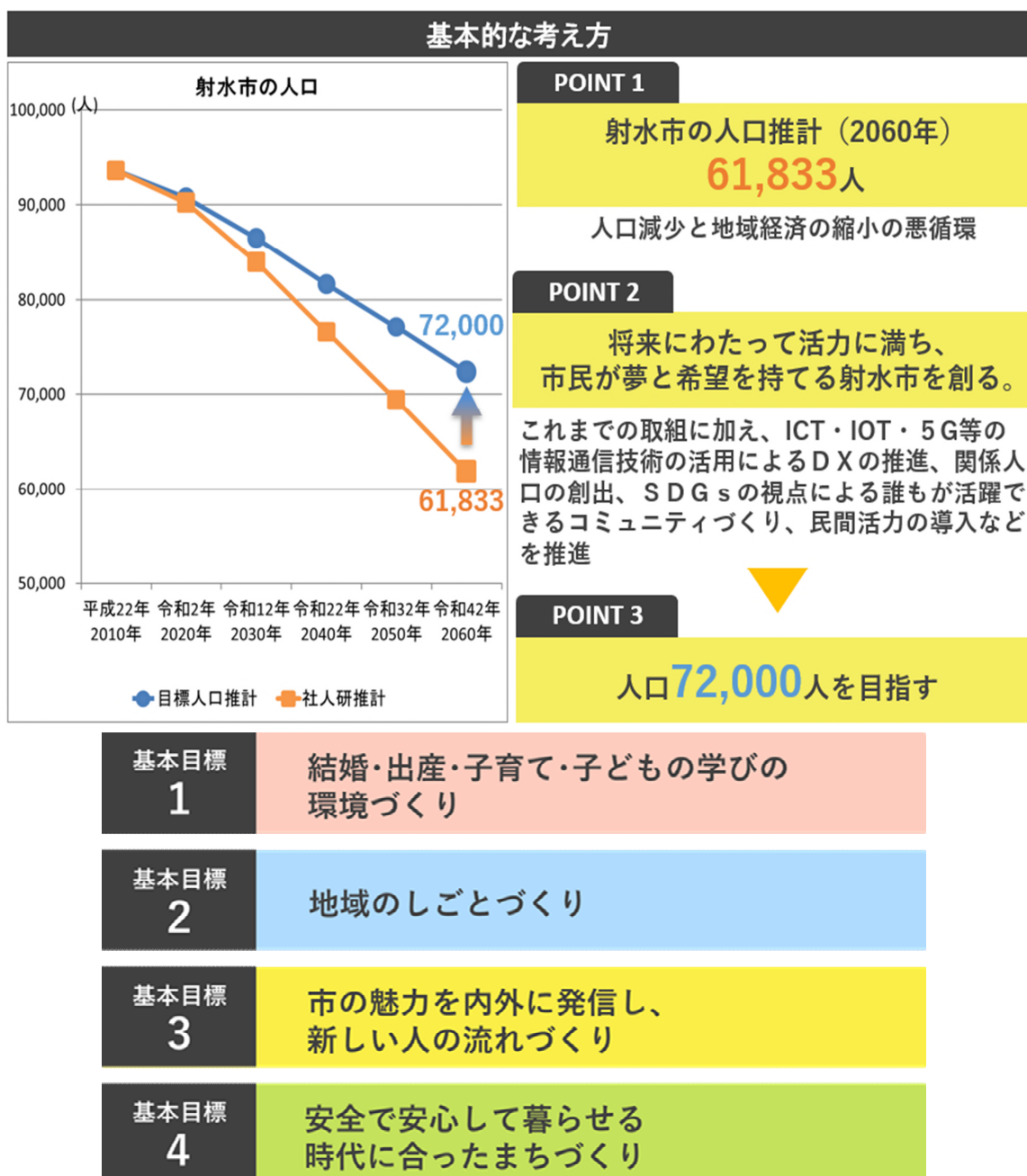
1	報告書策定の趣旨.....	1
2	人口の状況.....	2
3	評価の方法.....	3
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況.....	4
5	令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証.....	16
6	総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標.....	24

1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定した。令和元年度には第1期の検証等を踏まえ、第2期総合戦略（令和2年度～令和6年度）を新たに策定している。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

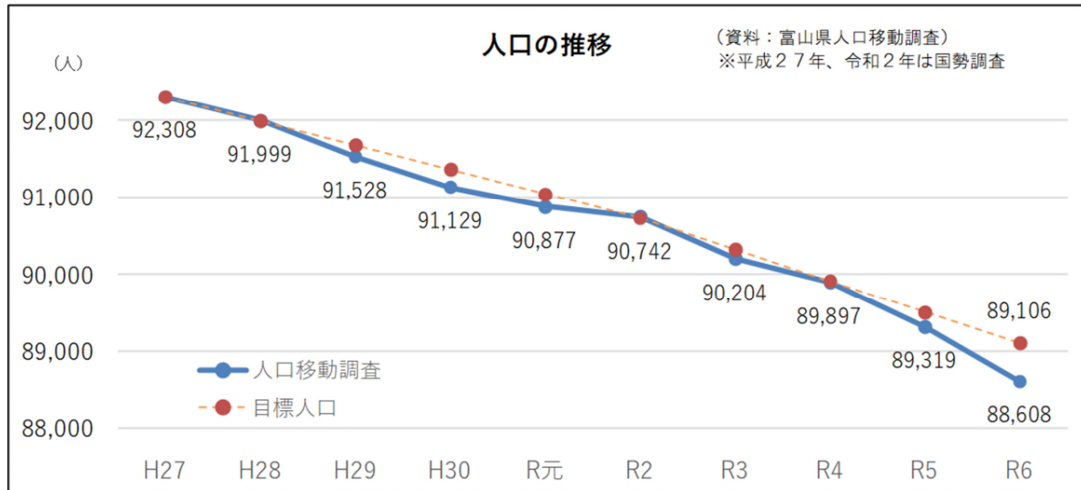
今回は、第2期の最終年度である令和6年度の進捗状況について報告するものである。



2 人口の状況

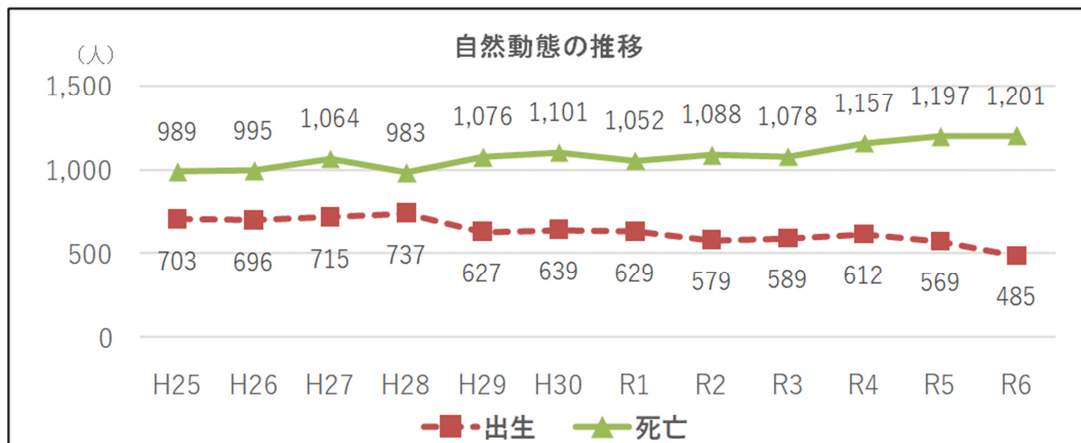
(1) 人口の現状

令和6年10月1日現在の本市の総人口は88,608人で、前年と比較して711人、0.8パーセントの減となった。目標人口89,106人を498人下回っており、前年と比較してその差は大きくなっている。

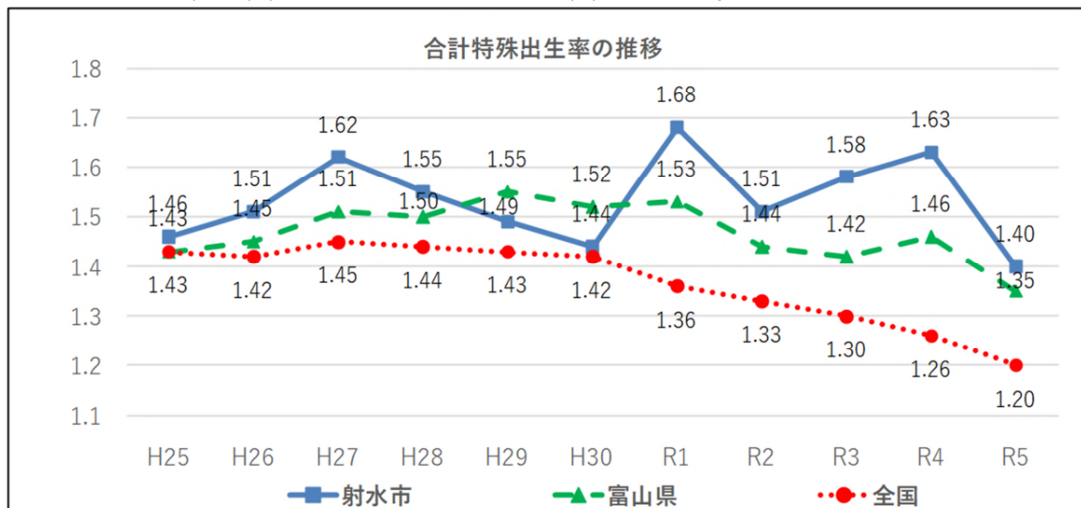


(2) 自然動態

① 令和6年の出生者数は485人で、前年と比べ84人減少した。死亡者数は1,201人で、前年と比べ4人増加し、自然動態は716人のマイナスとなった。

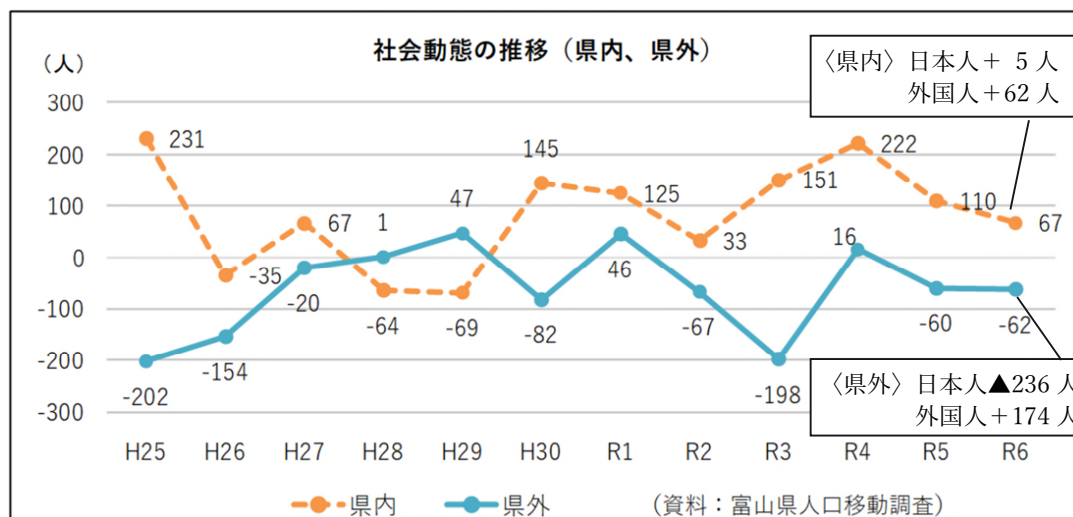
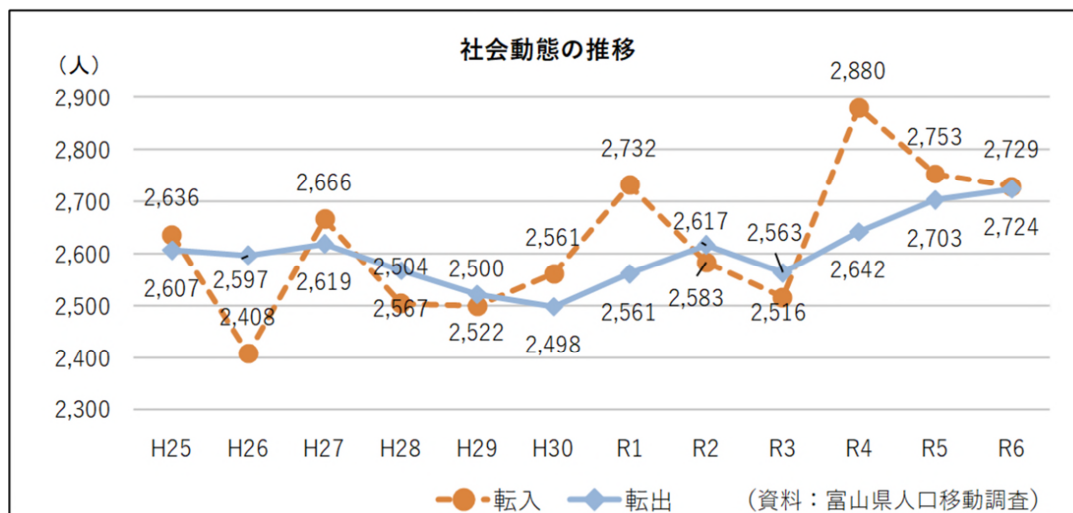


② 令和5年の合計特殊出生率は1.40であり、前年から0.23ポイント下回ったが、前年に引き続き国及び県の数値よりも上回っている。



(3) 社会動態

令和6年の転入者数は2,729人で、転出者数の2,724人を上回り、社会動態は5人のプラスとなった。内訳としては、日本人は231人の転出超過、外国人は236人の転入超過であり、日本人の県内移動は転入と転出が均衡しており、日本人の県外転出者数は依然として増加傾向にある。



3 評価の方法

第2期射水まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を次の4段階で評価を行う。

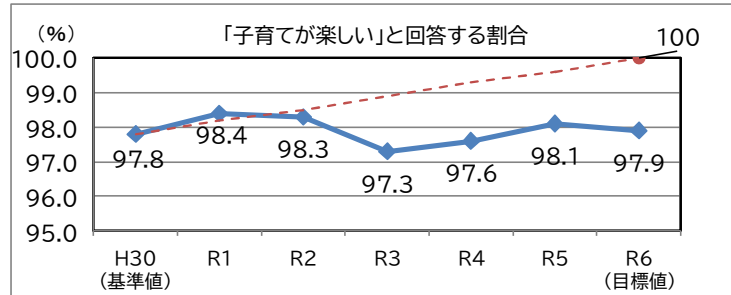
- (1) 達成 …… 最終年度の目標値を達成している。
- (2) 概ね順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が50%以上100%未満
- (3) 維持 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が50%未満
- (4) 遅れ …… 基準値を下回っている。

4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
「子育てが楽しい」と回答する割合 〔健診に来た保護者への問診結果〕	97.8%	97.9%	100%

進捗度
維持



令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の流行とそれに伴う生活環境の変化により一時的に数値が落ち込んだが、令和6年度は基準値である平成30年度の数値まで回復したことから、進捗度は「維持」となった。

<主な取組及び成果>

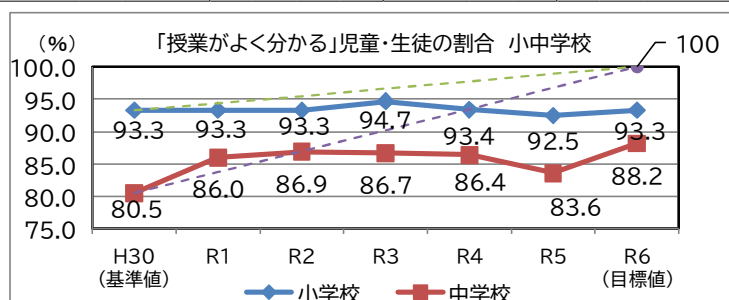
- 1 平成29年度に子ども子育て総合支援センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えている。
- 2 令和5年1月から新たに「伴走型相談支援事業」を実施し、これまでの切れ目のない支援体制を拡充している。
- 3 産後ケア事業(日帰り型・宿泊型・訪問型)、母子保健推進員による妊娠期及び6～7か月児への家庭訪問を実施し、産前・産後サポート体制の充実を図った。
- 4 産後うつ予防と母親の交流の場づくりを目的とした「いみずっ子Babyの会」を開催し、産後サポート体制を強化した。
- 5 令和6年度に設置した「こども家庭センター」に保健センターすこやか保健係が属し、こどもと子育て世帯を妊娠期から切れ目なく包括的に支援する体制を構築した。

<今後の取組>

- 1 すべての妊産婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう情報提供を行い、様々な相談に応じ必要な支援につなぐ「妊婦等包括相談支援事業」を実施する。
- 2 令和7年4月に「こども家庭部」の新設、保健センターの母子保健分野のこども福祉課への移管を実施し、保健と福祉分野の更なる連携強化や切れ目のない子育て支援を行う。
- 3 令和7年度より「ママベビ助産師相談」を実施し、妊産婦の授乳や子どもの発育に関する相談会の機会の拡充を図る。
- 4 1か月健康診査費用助成を行い、乳児期の発育・発達を確認するとともに、子育て支援の必要なケースを早期に発見し、支援につなげる。
- 5 子育て支援アプリ「いみすく」by母子モを導入し、子育て情報の発信や教室等の予約のデジタル化を推進し、市民の子育て支援を充実する。

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小 93.3%	小 93.3%	小 100%
〔毎年全小中学校にて実施するアンケート調査結果〕	中 80.5%	中 88.2%	中 100%

進捗度
維持



小学生の数値はほぼ横ばいで推移している。中学生は取組直後に数値が増加したが、その後は横ばいが続き、令和6年度に上昇したものの目標値には届いておらず、進捗度は「維持」となった。

<主な取組及び成果>

- 1 授業において、解決までの見通しをもたせる課題設定や展開の工夫等を示した射水トライアル3点セット(射水スタンダード～授業のABC～、授業研究協議ステージアップ、授業力向上のちょいテク)を意識した実践が浸透してきた。
- 2 授業の基本を一通り身に付けた教員向けに、子どもの主体的な学びを引き出す授業を目指す「授業のABCNext」を作成し、周知を図った。
- 3 若手職員への指導技術の継承を目的とし、射水市マイスター教員の公開授業や学校訪問研究会を生かした授業参観を推奨し、教員の授業力の向上につなげた。
- 4 教員のICT活用指導力に関する研修を実施し、指導方法や指導体制の工夫改善を図るとともに「個に応じた指導」の充実を図ったことで、児童生徒の学習意欲を高めた。
- 5 デジタル教科書やAIドリル等学習支援ソフトの日常的な活用を推進することで、児童生徒が自ら課題を見出し、主体的に学習に取り組む態度が育ってきている。
- 6 学習サポーターを39人、チーム・ティーチング指導員を8人配置し、きめ細やかな学習指導・生活指導を行い、児童生徒の学習等への支援と教員の負担軽減を図った。
- 7 小学校第3学年の希望者を対象に、各校で5名の学習指導員が週1回(年間27回程)、算数の学力補充を目的とした放課後学習を行う「小学生学び応援塾」を5校で実施し、つまりき箇所の強化を図った。

<今後の取組>

- 1 個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図るため、ICT機器等を積極的に活用し、個に応じた学びと協働的な学びを一層推進する。
- 2 計画的なICT活用等の研修会の実施及びICT支援員等人的な支援の充実を図るとともに、各校で実践されたICTを活用した取組のデータベースの活用を促す。
- 3 「ICTスキルスタンダード」「ICT活用のヒント集」の活用を推進する。
- 4 児童生徒の自己肯定感を高めることによる学習意欲の喚起について継続的に取り組む。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	3	2	1 1

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	4 件	3 件	8 件	遅れ
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数	50,122 人	25,967 人	55,000 人	遅れ
4	新 射水市子育て支援センター R2 利用者満足度	89.0 %	96.9 %	100 %	概ね順調
5	新 子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数	729 件	1,873 件	2,000 件	概ね順調
6	新 赤ちゃんの駅設置箇所数	37 箇所	39 箇所	45 箇所	維持
7	男性の育児休業取得率	18.9 %	54.0 %	20.0 %	達成
8	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2 %	99.1 %	100 %	遅れ
9	児童生徒が、学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり「1時間以上」勉強すると回答した割合	(基準値R5) (小学校)57.4%	(小学校)48.9 %	増加	遅れ
		(基準値R5) (中学校)62.0%	(中学校)60.1 %	増加	遅れ
	児童生徒が、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり「2時間以上」勉強すると回答した割合	(基準値R5) (小学校)23.7%	(小学校)16.4 %	増加	遅れ
		(基準値R5) (中学校)43.5%	(中学校)35.0 %	増加	遅れ
10	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)79.3 %	(小学校)74.7 %	増加	遅れ
		(中学校)61.2 %	(中学校)40.5 %	増加	遅れ
11	不登校児童・生徒数	(小学校)32 人	(小学校)79 人	減少	遅れ
		(中学校)63 人	(中学校)128 人	減少	遅れ
12	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	994 人	1,055 人	1,100 人	概ね順調

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

※No.7 の数値は、産後パパ育休制度等の短期間育児休業も含む

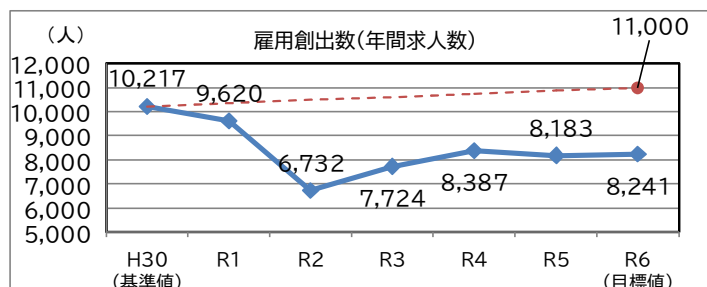
※No.9 は、令和6年度改訂第2期射水市教育振興基本計画において「家庭学習の1日当たり時間が『10分間×学年』以上の児童・生徒の割合」の指標がなくなったことに伴い、代替の指標として設定したもの

- 「男女出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベントや市が助成し民間が主催するイベントを3回開催したところ、9組のカップルが成立した。
- 「子育て支援センター（市内9か所）の年間利用者数」は、新湊くらし応援団グランパが閉館しセンターが8か所に減ったこと、出生率低下及び保育園入園の低年齢化により、年々在宅で育児される方が減少していることから前年と比較して減少している。
- 「地域の行事に参加している児童・生徒の割合」については、コロナ禍の影響による地域の行事への参加機会の減などが一因となり減少していたが、小学生の参加の割合は徐々に回復しており、今後も「ふるさと学習」を推進していく。
- 「不登校児童・生徒数」については、小・中学校とも増加しており、家族関係や家庭環境に起因するなど、複雑なケースが増加している。学級に入りづらい児童生徒が安心して学ぶことのできる学校内の居場所として、9校に設置した校内教育支援センター並びに支援員の活動の充実を図る。

基本目標2 地域のしごとづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
雇用創出数（年間求人数） 〔ハローワーク高岡管内の年間求人数〕	10,217人	8,241人	11,000人

進捗度
遅れ



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度に激減した。その後、市内企業のテレワーク環境等の整備促進や遠隔勤務等、新たな雇用形態への取組に対する支援の実施等により、令和3年度以降は求人が求職を上回って推移し、持ち直しの動きが見られたものの、基準値までの回復には至っておらず、進捗度は「遅れ」となった。

<主な取組及び成果>

- 1 コロナ禍に比べ全国的に有効求人倍率は上昇しており、富山県及び高岡管内の有効求人倍率は全国平均を上回っている。
※高岡管内有効求人倍率：H30年度2.06、R1年度1.85、R2年度1.26、R3年度1.56、R4年度1.66、R5年度1.58、R6年度1.55（富山県1.39、全国平均1.25）
- 2 市内企業のテレワーク環境等の整備促進を図り、遠隔勤務など、新しい雇用形態への取組を支援した。
- 3 雇用維持、新規学卒者を主体とした若年労働者の確保、失業者への雇用機会の創出のため、射水市内企業が採用動画を作成する際にかかった経費の一部を補助した。

<今後の取組>

- 1 商工団体、ハローワーク及び市で構成する雇用対策推進協議会において、市内企業が雇用確保のために制作するPR動画作成費用や、学生が市内企業の現場に出向き、業務内容に理解を深めるバスツアーの開催経費を支援する。
- 2 人材確保に悩む市内企業に対して、業務切り出しの支援を行うとともに、女性をはじめとした育児等で時間に制約のある市民の多様な働き方を支援し、両者のマッチングを図る。

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
6次産業化推進事業件数（累計） 〔補助事業を活用して6次産業化に取り組んだ事業者数〕	1件	9件	9件

進捗度

達成

(件)

6次産業化推進事業件数(累計)

年度	実績値(件)	目標値(件)
H30 (基準値)	1	1
R1	2	2
R2	4	3
R3	4	4
R4	7	5
R5	8	8
R6 (目標値)	9	9

市・県の支援事業や、とやま呉西圏域ローカルフードプラットフォーム(LFP)との連携等を通して6次産業化を推進した結果、令和6年度の実績値は累計9件となり、進捗度は「達成」となった。

<主な取組及び成果>

- 1 県の6次産業化チャレンジ支援事業補助金を活用し、令和6年度はきのこぐみが総菜の開発と観光農園整備(駐車場整備)を実施した。

<今後の取組>

- 1 富山6次産業化サポートセンターによる、専門的な指導助言を積極的に活用し、6次産業化を推進する。
- 2 6次産業化による新商品開発等に向け、国県の補助事業を積極的に活用する。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	0	3	6

	KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
13	市内企業団地分譲率	97.6 %	97.5 %	100 %	遅れ
14	創業支援事業補助金年間 利用件数	15 件	24 件	20 件	達成
15	産学官金連携による共同 研究の年間件数	14 件	6 件	15 件	遅れ
16 新	射水ブランド商品開発等支援補 助金を活用した延べ件数	1 件	3 件	7 件	維持
17 新	養殖サクラマスの年間出荷 数	17,200 尾/年	9,701 尾/年	40,000 尾/年	遅れ
18 新	IT、IoTを活用して生産性向上 に取り組む事業者の割合	— %	23.3 %	30.0 %	維持
19 新 R2	テレワークを実施している 企業数	(基準値R2) — 件	23 件	増加	遅れ
20 新	長時間労働の削減に取り 組む事業者の割合	56.3 %	39.7 %	65.0 %	遅れ
21	中小企業退職共済加入者 数	3,759 人	3,799 人	4,200 人	維持
22	人材確保充足数	1,601 件	1,069 件	1,650 件	遅れ

※新 R2…令和 2 年度改訂時に新たに設定したもの

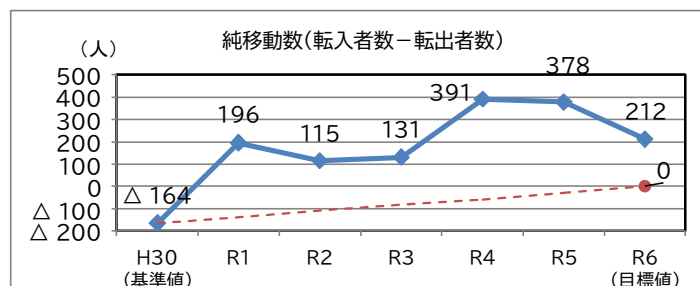
- 「市内企業団地分譲率」は、令和 5 年 4 月からの沖塚原企業団地（約 9.5ha）の分譲開始により一時的に市内全体の分譲率は低下したが、県内外企業を訪問し企業誘致活動を行い、令和 6 年度末までに 5 社と契約を締結したため、沖塚原企業団地における分譲率は 64.3%となった。
- 「産学官金連携による共同研究の年間件数」は、コロナ禍以前と比較すると回復しきれていない。引き続き、呉西圏域連携事業である「ものづくり開発・経営支援セミナー＆相談会」を開催し、企業が研究機関等へ相談できる場を提供し、共同研究・開発の促進やものづくり開発人材の育成へつなげる。
- 「養殖サクラマスの年間出荷数」は陸上養殖との併用を中止し、海上養殖のみでの養殖に取り組んだことなどにより、生存率の向上は見られたものの、出荷尾数は減少した。今後も安定的かつ確実な市場価格での出荷を目指し、平均重量、歩留まり率（7割）を向上を目指して養殖技術の向上に取り組む。
- 「人材確保充足数」については、求人が求職を大幅に上回って推移し、人員不足が深刻な状況にある。射水市雇用対策推進協議会では令和 5 年度より求人採用活動支援事業を開始した。これは企業が雇用維持や新規学卒者等の若年労働者の確保や失業者への雇用機会の創出を目的として採用動画を作成した場合の経費の一部について補助を行うものであり、令和 5 年度は 15 社、令和 6 年度は 5 社からの申請があった。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
純移動数（転入者数－転出者数） 〔富山県人口移動調査〕	△ 164人	212人	0人(均衡)

※直近5年間の累計

進捗度
達成



令和元年度に目標値を超え、その後も増減はあるもののいずれも目標値を上回って推移している。内訳としては外国人の転入が多くなっており、進捗度は「達成」となった。

<主な取組及び成果>

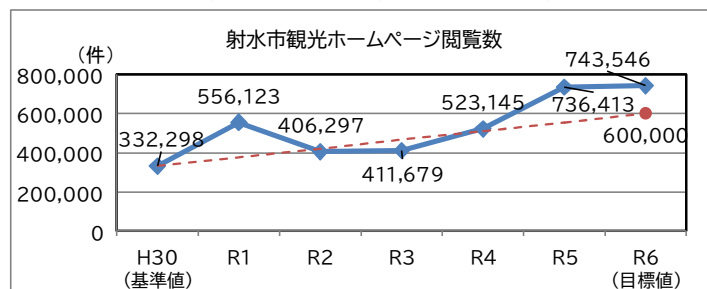
- 1 移住体験ツアーやオンラインセミナーの開催による移住検討者への情報発信やいみず住まい等応援事業補助金の新設による市外からの転入者の定住の促進を図った。
- 2 令和6年10月に、移住と空き家の相談窓口「＃みらいシテン射水」を開設した。

<今後の取組>

- 1 技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。
- 2 若者の定住やUIターン促進に一層努めるとともに、多くの人に本市を訪れてもらえるよう、転入者の新築住宅の取得や空き家の購入に対する支援の継続、移住支援金の対象拡大、首都圏に在住または勤務している本市出身の若者を対象としたふるさと射水の魅力を改めて認識してもらうための交流イベントの開催等、様々な分野の施策を展開していく。

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
射水市観光ホームページ閲覧数 〔観光協会が運営しているホームページの閲覧数(累計)〕	332,298件	743,546件	600,000件

進捗度
達成



新型コロナウイルス感染症の流行期はいったん数値が伸び悩んだものの、令和4年度以降は増加傾向にある。観光機運の上昇や様々な観光振興施策の展開が影響したものと考えられ、令和5年度には目標値を超えており、進捗度は「達成」となっている。

<主な取組及び成果>

- 1 新たな観光商品として「内川ナイトクルーズ」を造成するなど、観光地としての魅力向上に取り組んだ。
- 2 台湾大手旅行会社等への観光トップセールス、観光商談会やいみずの寿司のPRイベントを実施した。
- 3 能登半島地震後、「北陸応援割」と合わせて「射水寄ってかれクーポン事業」を実施した。
- 4 閑散期における宿泊需要を拡大し、併せて飲食店への消費の波及を図るため、令和7年2～3月に「いみず食(しょく)泊(はく)割(わり)キャンペーン」を実施した。
- 5 24時間応答可能なAIチャットボットの導入や9言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、韓国語、タイ語)対応の観光サイトJFM (JAPAN in JAPAN for Municipality)の射水市紹介ページにアクセスできるバナー画像を設置した。

<今後の取組>

- 1 観光の専門家と連携し、より「行きたい」と思ってもらえるよう公式観光ウェブサイトのリニューアルを行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	6	0	1	10

KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
23 新 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数(県窓口分除く)	88 人	330 人	100 人	達成
24 新 指定宅地における住宅建築率	41.9 %	50.9 %	50.0 %	達成
25 住宅相談窓口年間相談数	36 件	73 件	45 件	達成
26 空き家の有効活用支援延べ件数(サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)(累計)	1 件	10 件	3 件	達成
27 新 空き家情報バンクへの登録件数	36 件	46 件	40 件	達成
28 ロケ地(川の駅)来訪者数	45,835 人/年	44,961 人/年	50,000 人/年	遅れ
29 海王丸パーク周辺入込数	1,767,400 人/年	1,159,550 人/年	1,850,000 人/年	遅れ
30 新 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	295 人/年	129 人/年	320 人/年	遅れ
31 新 R2 市LINE公式アカウント友だち数	(基準値R2) — 人	29,083 人	25,000 人	達成
32 新 フットボールセンターの年間利用者数	— 人/年	13,989 人/年	60,000 人/年	遅れ
33 コミュニティバス等乗車人数	418,572 人/年	391,342 人/年	450,000 人/年	遅れ
34 万葉線乗車人数	1,192,041 人/年	1,089,688 人/年	1,200,000 人/年	遅れ
35 新 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	1,557,708 人/年	1,573,424 人/年	1,642,500 人/年	維持
36 市内企業に就職したい学生の割合	50.7 %	45.4 %	70.0 %	遅れ
37 学生訪問支援事業の参加学生の満足度	97.2 %	72.7 %	98.5 %	遅れ
38 新 R5 まちづくりに参画した学生・生徒の数	437 人	382 人	503 人	遅れ
39 新 R5 学びの地域拠点の設置数	(基準値R4) — か所	0 か所	2 か所	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

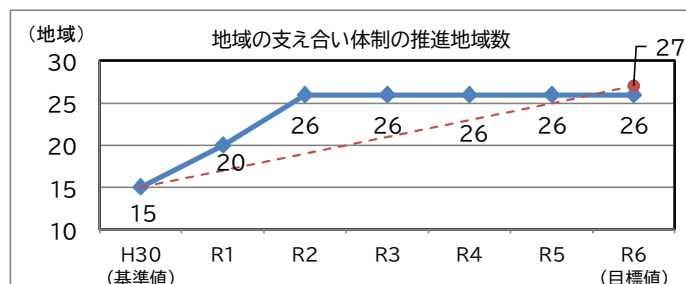
※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

- 「継続的に射水市にふるさと納税をした人数」は、総務省の地場産品基準の改正に伴い提供できなくなった返礼品があったことに加え、能登半島地震の影響により海産物の人気返礼品の提供数が制限されたため、令和6年度は大幅に減少している。
- 「コミュニティバス等乗車人数」は、運転手不足に伴うコミュニティバスの臨時運休を実施したものの、「のるーと射水」の運行エリア拡大により回復傾向にある。引き続きエリア拡大に向けて取り組んでいく。
- 「学生訪問支援事業の参加学生の満足度」は、参加学生のアンケートに基づく結果であり個人差はあるが、令和6年度は1日に4社を巡るタイムスケジュールが一部の学生にとって負担が大きかった可能性が考えられる。就職を考える上での参考になったという意見は多いことから、学生の負担を考慮しながら今後も継続して実施する。

基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
地域の支え合い体制の推進地域数 〔支え合いネットワーク事業を実施している地域数〕	15地域	26地域	27地域

進捗度
概ね順調



地域での支え合い体制構築の必要性の周知に努め、認知された結果、取組以降順調に増加した。未整備地区は1地域のみとなっており、進捗度は「概ね順調」となった。

<主な取組及び成果>

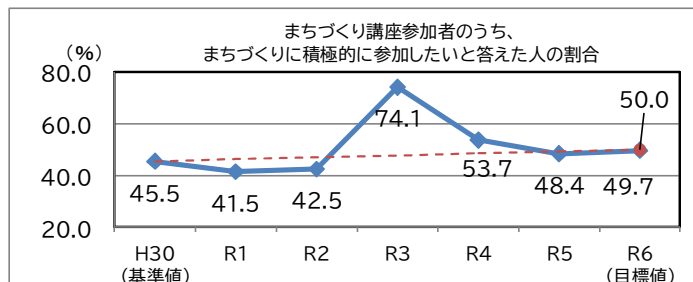
- 1 高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域振興会単位で住民主体の多様な地域活動の創出及び地域の支え合い体制の整備を推進した。

<今後の取組>

- 1 生活支援コーディネーター（第1層〔市〕、第2層〔地域包括支援センター〕、第3層〔地域振興会〕による生活支援や介護予防サービスなど重層的な支援体制を充実する。
- 2 市内全域での事業実施及び地域での住民主体の多様な支え合い活動が、より充実するよう支援する。
- 3 未整備地区に対して、体制整備に向けた支援を継続する。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R6)	目標値 (R6)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合 〔まちづくり講座（まちプラ、まちづくりセミナー等）への参加者に対するアンケート〕	45.5%	49.7%	50.0%

進捗度
概ね順調



実施年度ごとに新たな視点でセミナーや講座を企画・開催しており、参加者満足度に差が出るため、まちづくりへの参加意欲にも大きな増減が見られるものと考えられる。令和6年度の結果に基づく進捗度は「概ね順調」となっている。

<主な取組及び成果>

- 1 「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、参加者が地域振興会や地域に根差した活動をしている団体の活動を体験したり、歴史的な建造物をめぐると、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。
- 2 「射水まちづくりセミナー」を実施し、実践的なファシリテーション講座やゲーム形式でまちづくりを体験する講座を開催し、参加者のスキルアップを図った。
- 3 「女性活躍推進セミナー」を実施し、市内外で活躍している女性を講師に迎え、女性の地域活動の参加を後押しし、地域活性化の促進を図った。

<今後の取組>

- 1 引き続き民間活力を導入し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	概ね順調	維持	遅れ
件数	4	6	2	5

KPI	基準値 (平成30年度)	実績 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
40 総合患者満足度数	4.13 点	3.94 点	4.15 点	遅れ
41 防災士取得者数	109 人	200 人	162 人	達成
42 消防団員数	707 人	660 人	757 人	遅れ
43 新 一人／日当たりのごみの排出量	(基準値H27) 1,117 g	1,024 g	1,005 g	概ね順調
44 新 リサイクル率	(基準値R2) 20.9 %	20.8 %	22.1 %	遅れ
45 まちづくり講座受講者数	22 人/年	170 人/年	200 人/年	概ね順調
46 新 事業運営を担う中核的法人数	0 法人	1 法人	2 法人	概ね順調
47 元気な高齢者の割合	82.0 %	80.3 %	78.0 %	維持
48 新 R3 セミナー受講者の満足度	— %	87.5 %	80.0 %	達成
49 新 R3 女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	(基準値R3) — 件	2 件	20 件	遅れ
50 新 多文化こどもサポートセンターの年間参加者数	176 人	136 人	200 人	遅れ
51 見直しする公共施設数	32 件	45 件	42 件	達成
52 ICカードの多目的利用業務数	4 業務	7 業務	10 業務	概ね順調
53 新 IoT活用延べ業務数	— 業務	9 業務	15 業務	概ね順調
54 新 RPA活用延べ業務数	— 業務	18 業務	20 業務	概ね順調
55 新 R2 テレワーク活用延べ件数	(基準値R1) — 件	68 件	360 件	維持
56 呉西圏域で連携して取り組む事業数	32 件	33 件	33 件	達成

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2、新 R3…各年度改訂時に新たに設定したもの

- 「消防団員数」は、全体として減となっているが、令和6年度は前年度より新規団員数は増加しており、退団数は例年並みとなっている。消防団の力向上モデル事業を活用し、親子消防団体体験教室に取り組むなど、若手消防団員の加入を促進する。
- 「リサイクル率」は、資源回収の担い手不足により、団体数、実施回数等が減少した一方、民間廃棄物処理施設でのリサイクル量が増加したため、昨年度より1.3%向上した。市一般廃棄物処理実施計画、分別収集計画に基づく各種施策の検証を行い、見直しや新規施策を検討・実施し、取組を推進する。
- 「女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数」は、事業の周知不足が実績の伸び悩みの一因と考えられるため、市公式LINE、広報誌による情報発信の回数を増やし、周知を図る。
- 「多文化こどもサポートセンターの年間参加者数」については、今まで参加していた児童の卒業等により、登録者数・参加者数が減少した。登録サポーターの養成講座の開催や小中学校へのチラシの配布など、更なる事業周知に努める。

5 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証

令和6年度に国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業は、以下のとおりである。

①誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト【市単独実施事業】

事業費 78,615千円
交付金額 39,307千円

＜事業概要＞R6～R8

①新しい暮らし方への挑戦(活動・移住・仕事)応援

空き家の利活用による移住や創業・事業承継の推進、多様な人々(地域住民や経営者、移住者、学生等)が交流する居場所づくりなど、新しい暮らしを希望する人を呼び込むための体制を整備する。

②エリア外からの人の関心を集める風土づくり

エリア外からの人の関心を集めて関係人口の増加を図るために、エリアの持つ魅力の認知度を高めるとともに、環境改善を図りエリアの価値向上を目指す。

③新たな人流を生み出す地域交通

自家用車に代わる移動手段を確保してエリア内の人の流れを創出するために、新湊の旧市街地等のエリアでAIデマンド型の地域公共交通を実証運行するほか、電動キックボード等の新たな交通手段を導入して移動の利便性向上を図る。また、夜間公共交通の運行により、都市中核拠点間をつなぐ交通ネットワークの形成を推進する。

KPI		R5	R6	R8
新湊及び小杉地区の旧市街地エリアの人口	目標値		10,477人	10,199人
	実績値	10,631人	10,312人	
空き物件チャレンジショップ応援事業補助金交付件数	目標値		8件	10件
	実績値	0件	1件	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(1日当たり)	目標値		3,080人	3,200人
	実績値	3,020人	3,241人	
内川エリア(川の駅新湊)年間来訪者数	目標値		42,400人	44,000人
	実績値	41,600人	44,961人	

＜主な取組及び成果＞

- 1 空き物件チャレンジショップ応援事業として1件の補助を行い、起業・創業や新規出店の促進につなげた。また、内川リノベーションまちづくり推進事業として、今後の方向性を整理するとともに空き家等の流通促進に向けた掘り起こしを行った。移住・空き家トータルサポート事業では移住検討者や空き家利活用希望者をサポートするワンストップ窓口を開設し、情報発信や体験・交流機会の提供、移住後を見据えた相談対応を行った。ウォーカブルなまちづくり推進事業では、飲食店等と連携した食の魅力を発信するイベント開催に補助を行ったほか、エリアの回遊性を高める5事業に対して補助を行い、地域の消費喚起、交流・滞在空間の創出につなげた。
- 2 内川まちなみづくり構想を作成し、内川周辺の景観がもつ価値と課題を整理した。
- 3 太閤山地区内で電動キックボードの試乗会及びアンケート調査を実施し、導入可能性を確認した。

＜今後の取組＞

エリアリノベーションまちづくりや創業・事業承継の推進、魅力的なまちなみ形成等、これまでの取組を継続して稼げる循環システムを構築し、人流イノベーションシティを創造する。

②スポーツ施設を核とした地域活性化事業【市単独実施事業：拠点整備タイプ】

事業費 1,576,132千円
 交付金額 660,554千円

＜事業概要＞R2～R3

スポーツ合宿誘致への需要に対応するため、県西部唯一の人工芝グラウンド2面及び屋根付きフットサル場を整備し、スポーツ合宿誘致を通じた稼ぐ地域づくりを進めるとともに、既存イベント等を通じて近隣施設と連携し、より多くの人々を呼び込み、「射水の一大スポーツエリア スポーツ合宿等で選ばれるまち 射水」として魅力創出を図る。

整備に当たっては、地元ケーブルテレビ局と連携・協力し、ローカル5G環境を整備するとともに、AIカメラを設置した。AIカメラは自動で、撮影・収録・編集・配信を同時に行い、YouTubeなどを通して世界中に大容量動画をシームレスに同時配信することで国内はもとより、世界中の有名な指導者からの遠隔指導が可能となるほか、同時に臨場感溢れるライブ映像を提供する。

また、IoTを活用した運動解析プログラムを提供し、現地での指導環境を充実させることに加え、ローカル5G環境が整ったホテルとの連携により撮影した映像によるプレー分析をホテルで行うことを可能にした。

さらに、近接する県内有数のスポーツトレーニング施設であり、温水プール・アリーナ・各種専門的なトレーニングマシンを備えた海竜スポーツランドを開放することで、身体能力の向上を図るための複合的なトレーニングメニュー等の提供が可能となり、スポーツ合宿のニーズに対応できる環境を整える。

KPI		R1	R5	R6
フットボールセンターの利用者数	目標値		55,000人	60,000人
	実績値	0人	76,696人	13,989人
スポーツ合宿の誘致件数	目標値		25件	30件
	実績値	0件	8件	0件
全国大会開催数	目標値		2件	3件
	実績値	0件	0件	0件
総合型地域スポーツクラブ会員加入率 (クラブ入会者数/射水市人口)	目標値		4.95%	5.00%
	実績値	4.80%	4.86%	5.02%

※令和6年能登半島地震の被害によりR6.1.1～R7.4.28の間、人工芝フィールド2面は利用休止

＜主な取組及び成果＞

令和6年能登半島地震の被害を受けた人工芝フィールド2面の復旧工事を実施したため、利用者数が減少した。屋根付きフットサル場は供用を継続し、一般利用やスクールによる安定した利用があった。

＜今後の取組＞

人工芝フィールド2面の供用再開後、大会や合宿誘致の取組を引き続き推進するとともに、スポーツイベント等の実施による賑わい創出に努める。

③射水市道の駅新湊等整備運営事業【市単独実施事業：拠点整備タイプ】

事業費 50,820千円
交付金額 25,410千円

<事業概要>R6～R7

躯体の劣化が進んでいた道の駅新湊の大規模改修を行うとともに、新湊農村環境改善センターの用途を廃止し、道の駅新湊別館としてリニューアルを行う。また、道の駅周辺エリアの中心を分断する市道作道228号線を隣接地に付け替え、市道部分を歩行者専用エリアとして整備し、エリア内の回遊性を向上させる。

●道の駅新湊

→ 物販及びカフェテリア機能に特化した「minami court」(仮称)として改修

●新湊農村環境改善センター

→ フードホール機能に特化した「kita court」(仮称)として改修

●市道作道228号線

→ エリア北側に付け替え、旧市道エリアを歩行者専用エリア「center court」(仮称)に整備

●新湊農村環境改善センター西側隣接地

→ 駐車場を新設

KPI		R5	R6	R11
地域における観光消費額	目標値		950,000千円	1,204,000千円
	実績値	947,590千円	788,886千円	
道の駅新湊売上総額	目標値		401,000千円	555,097千円
	実績値	400,828千円	381,584千円	
スマートフォンGPSデータに基づく道の駅周辺エリア来訪者数	目標値		330,000人	456,665人
	実績値	329,040人	295,704人	
6次産業化推進事業件数(累計)	目標値		1件	5件
	実績値	1件	9件	

<主な取組及び成果>

道の駅周辺エリア構想に基づき、運営事業者のアイデアとノウハウを最大限に反映するためPPP手法のひとつであるDBO手法を活用し、新湊農村環境改善センターを道の駅新湊別館に転用するリニューアル工事を実施した。

<今後の取組>

引き続きDBO手法を活用し、令和7年11月中のリニューアルオープンに向け大規模改修工事を進める。

④多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業【県連携事業】

事業費 1,550千円
交付金額 775千円

＜事業概要＞R3～R7

「数」以上に「質」を重視し、何度でも訪れたいくなる「選ばれる観光地」としても魅力を向上させることで、コアな富山ファン・リピーターの獲得や消費単価・滞在日数の増を図るため、(公社)とやま観光推進機構を中核とし、県内15市町村や地域の多様な産業・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくりを推進する。平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、官民一体となって取り組むもの。

- アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
- 北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
- 「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
- 美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

KPI		R2	R5※	R7
観光消費額単価(宿泊・日帰り)(円/人回)	目標値		9,600円	11,900円
	実績値	8,880円	12,984円	
観光客入込数(実数)	目標値		11,134人	13,724千人
	実績値	11,039千人	14,094人	
日本橋富山館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数	目標値		35,000人	40,000人
	実績値	15,000人	14,153人	
県立美術館等の年間来館者数	目標値		570,000人	920,000人
	実績値	400,000人	1,029,637人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

とやま観光推進機構が企画するWEBサイト(VISIT富山県)の旅行商品として、「内川ナイトクルーズ」や「新湊漁港屋セリ見学」等の日帰りツアーを販売し市内への誘客を図った。また、射水市公式フォトアンバサダーでもあるイナガキヤスト氏の内川等の写真も活用し、市内の魅力の発信を行った。

＜今後の取組＞

今後も引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、各種観光振興施策に取り組む。

⑤地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業【県連携事業】

事業費 878千円
交付金額 438千円

＜事業概要＞R6～R8

①まちづくりと連携した駅の機能強化に対する投資

交通結節点である駅を基点としたエリアの機能向上、人と人の交流が生まれる地域の拠点としての駅空間の構築を図る。

②鉄軌道サービスレベル向上と地域内のモビリティサービスに対する投資

沿線自治体による利便性・快適性の向上につながるダイヤ改善に向けた取組(ダイヤ編成・車両編成の改善等)を支援する。また、富山空港から富山駅へ直行するバスを運行するとともに、バスに添乗する通訳がバス内で観光案内を実施する。

③地域交通ネットワーク内の移動・交流の創出に対する投資

駅や各々の地域交通サービスの向上とともに、ネットワーク内の交通サービス間での連携や、目的地となる商店や観光地等とのサービス連携、デジタルを活用したサービスの改善を図るなど、ネットワーク全体で移動・交流の促進に取り組む。

④地域の活力・魅力向上のための「参画」促進

県民(沿線の住民、企業、店舗等)に積極的な公共交通利用を促すとともに、地域交通サービスの支え手・担い手として、地域交通サービスの運営等に「参画」してもらう取組を推進する。

KPI		R5	R6※	R8
地域の人口・世帯数(人/年)	目標値		995,989人	975,612人
	実績値	1,006,367人	-	
中心市街地等の歩行者通行量(富山市・高岡市の中心市街地及び駅周辺の歩行者通行量)(人/年)	目標値		67,544人	67,316人
	実績値	67,658人	-	
県民1人当たりの地域交通利用回数(回/年)	目標値		41.5回	44.9回
	実績値	39.8回	-	
県内の自動車保有台数(貨物・特殊車両除く)(台/年)	目標値		568,728台	533,008台
	実績値	586,588台	-	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

＜主な取組及び成果＞

県・交通事業者と連携して開発したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」のQRコードを各バス停に掲示するなど、連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などの協力のうえ、利用者の利便性向上に努めた。

＜今後の取組＞

時刻表データ更新等システムの維持管理を適切に実施するなど、地域交通ネットワーク全体での移動・交流の促進に取り組む。

⑥開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト【県連携事業】

事業費 4,026千円
交付金額 2,013千円

＜事業概要＞R4～R8

- 県・市町村が一体となりカーボンニュートラルをより総合的・分野横断的に推進するため、「富山県カーボンニュートラル推進本部」を設置する。
- 小水力発電の導入可能性を調査・公開し、民間事業者等による新規導入を促進し、地域活性化を図る。
- アルミ産業の振興のため、とやまアルミコンソーシアムと連携し、アルミのリサイクルに関する研究開発支援やアルミサンドボックスを実施し、成長力強化を図る。
- 温室効果ガス排出を削減するため、過度な自家用車依存から脱却した地域公共交通ネットワークの再編を支援する。
- 国境を越えた課題である気候変動問題に対応するため、北東アジア地域の自治体と連携して、温暖化状況モニタリングのスキームづくりや中高生の人材育成に取り組む。
- SDGsの取組を推進するとともに、廃プラスチックの活用、災害廃棄物発生時の対応、不法投棄の未然防止などの検討を行う。
- 海王丸財団や「美しい富山湾クラブ」関連事業者のイベント・会議等実施に対して支援し、子どもたちが水資源をはじめとする自然に触れ、その保全のために取り組むことについて学ぶ機会を提供する。
- 水産エコラベル認証取得を支援する等、水産資源の持続的利用に対する県民理解の進化を図る。

KPI		R3	R5※	R8
エネルギーの消費量の2013年度比の削減率	目標値		9.6%(R3)	14.1%
	実績値	6.3%(R2)	13.4%(R3)	
県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率	目標値		73.3%	100.0%
	実績値	26.7%(R2)	66.6%	
一般廃棄物循環利用率	目標値		26.8%	28.0%
	実績値	26.0%	25.4%(R4)	
北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数	目標値		949人	1,039人
	実績値	889人	997人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

県と連携して「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークのイベントにおいて、市民向けのSDGs啓発を実施した。

＜今後の取組＞

海王丸パークでのイベント、海王丸の保存活用事業を通じて、カーボンニュートラル啓発を実施し、引き続き富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。「とやまカーボンニュートラルポータルサイト」を拠点とした情報発信を行い、県全体で取り組む機運を高めていく。

⑦Toyama Digital Transformation Project 【県連携事業】

事業費 1,964千円
交付金額 982千円

＜事業概要＞R4～R8

●県、市町村でシームレスなデータ活用基盤を構築するとともに、オープンデータサイトの拡充や人流データ分析ツールの導入により、企業等がデータを活用できる環境を整備し、様々な地域課題の解決を図るとともに、県内産業の成長につなげる。

●関係人口の増加や官民連携のさらなる推進を図るため、対象となり得る者のニーズや属性を的確に把握するためのデータマネジメント・プラットフォームの構築や、UI・UXの向上による訴求力の向上に取り組む。

●ビックデータ等のデジタル技術を活用して地域課題解決を図る実証事業を行い、県内企業や市町村への事例を横展開し、データ活用の有効性等の周知や新しいビジネスなどの創出を図る。

●小中学生を対象としたプログラミング教育や県内大学と連携したデータサイエンス教育、DXセミナー等、産官学連携した人材育成の取組を進める。スマートフォンの操作方法等を教えることができるボランティアを県内各地で養成し、デジタルデバイドを解消することで、暮らしの向上を図る。

KPI		R3	R5※	R8
データ利活用による地域課題解決の取組件数	目標値		20件	50件
	実績値	0件	19件	
データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数	目標値		120団体	300団体
	実績値	0団体	0団体	
県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数	目標値		80人	170人
	実績値	20人	64人	
県立大学におけるDXに関する相談受付件数	目標値		14件	25件
	実績値	0件	10件	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜主な取組及び成果＞

センサーを活用したIoT利活用事業として、排水路やため池の水位や降積雪量の常時観測を実施している。遠隔からの危険水位の検知や降雪量の計測の実現により、現地確認に係る職員の業務の効率化が図られた。また、リアルタイムなデータ取得により、浸水想定区域への伝達や除雪車出動要請など災害等への迅速な対応が可能となり、市民サービスの向上につながっている。

＜今後の取組＞

県民の利便性向上や地域課題の解決を図るため、引き続き県や他市町村と連携してデータ利活用の推進につなげる。

⑧寿司を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業【県連携事業】

事業費 19,982千円
 交付金額 9,990千円

＜事業概要＞R6～R8

●ブランド確立に向けた展開

- ①寿司を軸とした新たな体験型・滞在型コンテンツ創出
- ②寿司を軸としたデジタル情報発信コンテンツの制作
- ③寿司イベントと連動したデジタル広告運用による認知拡大
- ④民間事業者が寿司を起点としたブランディングに参画しやすい環境整備
- ⑤地域ブランディングを担う地域組織の形成
- ⑥ふるさと教育をきっかけとしたシビックプライドの向上
- ⑦県民総メディア化を図るための機運醸成
- ⑧関係人口の増加に向けた種まきの取組

●寿司をフックとしたプロモーション等による観光消費額増に向けた取組

- ⑨国内向けの寿司をフックとしたプロモーション
- ⑩国外向けのプロモーション

●ブランド基盤を支える取組

- ⑪寿司提供体制維持及び稼ぐ力の強化
- ⑫寿司を構成するネタ・シャリの安定供給のための環境保全対策
- ⑬人的資本の強化

KPI		R5	R6※	R8
地域の観光消費額 ※ブランディング戦略による観光消費額の増加額	目標値		66.0億円	184.0億円
	実績値	0.0億円	-	
担い手育成関係事業に参画した人数	目標値		15人	47人
	実績値	0人	-	
磯根資源養殖生産量	目標値		0.0トン	2.1トン
	実績値	0.0トン	-	
主要都市圏で「寿司と言えばイメージする都道府県」で「富山県」を第一想起する方の割合	目標値		20.0%	40.0%
	実績値	8.9%	-	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

＜主な取組及び成果＞

- 1 台湾台北市にて、新湊漁港で水揚げされた魚を使った寿司のPRイベントを開催し、現地旅行会社90社113名が参加した。
- 2 寿司店等誘致事業では、首都圏等の寿司店を対象とした調査を行い、モニターツアーを通して今後の誘致に向けた課題整理を行った。新規漁業就業者応援事業においては、定置網漁3名の新規漁業就業者に対し支援を行った。

＜今後の取組＞

- 1 令和7年度に台湾高雄市において寿司のPRイベントを開催し、本市の寿司の魅力を台湾の方々へダイレクトに伝える。
- 2 寿司店等誘致事業では、令和6年度に見えた課題を踏まえ、首都圏でのPRイベントやSNSによる情報発信を行い、出店希望者とのマッチングを図る。新規漁業就業者応援事業においては、かにかご・定置網の新規漁業就業者に対して引き続き支援を行う。

6 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	数 値 目 標	「子育てが楽しい」と回答する割合	H30	97.8 %	100 %	健診に来た保護者への問診結果
		「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	H30	(小)93.3 (中)80.5 %	(小)100 (中)100 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調査結果
結婚に対する支援		男女出会いイベント数	H30	4 件	8 件	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及び市が助成し民間が主催するイベントの件数
子育て支援サービス等の充実		休日保育実施保育園数	H30	9 園	10 園	休日保育を実施する保育園の数
		子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数	H30	50,122 人	55,000 人	子育て支援センターの年間利用者数(市内子育て支援センター9か所の利用者の合計値)
	新 R2	射水市子育て支援センター利用者満足度	R1	89.0 %	100 %	利用者アンケートの質問事項として設定(子育て支援センター(キッズポート内)利用者へのアンケート)満足、おおむね満足の割合
	新 R5	子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数	H30	729 件	2,000 件	子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数(累計)
	新	赤ちゃんの駅設置箇所数	H30	37 箇所	45 箇所	赤ちゃんの駅の設置箇所数
男性の育児・家事参加促進		男性の育児休業取得率	H30	18.9 %	20.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
親と子の健康づくりの推進		3歳6か月児健康診査の受診率	H30	99.2 %	100 %	3歳6か月児健康診査の受診率
未来を担う子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成	重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I)	児童生徒が、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり「2時間以上」勉強すると回答した割合	R5	(小)57.4 (中)62.0 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
		児童生徒が、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり「2時間以上」勉強すると回答した割合	R5	(小)23.7 (中)43.5 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
郷土愛を育む教育の推進		地域の行事に参加している児童・生徒の割合	H30	(小)79.3 (中)61.2 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進		不登校児童・生徒数	H30	(小)32 (中)63 人	減少	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
家庭や地域における教育の充実		家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	H30	994 人	1,100 人	いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の参加者合計

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標2 地域のしごとづくり	数値目標	雇用創出数(年間求人数)	H30	10,217 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
		6次産業化推進事業件数(累計)	H30	1 件	9 件	補助事業を活用して6次産業化に取り組んだ事業者数
企業等誘致の推進		市内企業団地分譲率	H30	97.6 %	100 %	市内企業団地分譲率
創業や意欲のある企業への支援		創業支援事業補助金年間利用件数	H30	15 件	20 件	創業支援事業補助金年間利用件数
産学官金連携による共同研究、学術交流の実施		産学官金連携による共同研究の年間件数	H30	14 件/年	15 件/年	共同研究の件数を富山県立大学の地域連携センターから報告
射水ブランド商品開発支援、情報発信	新	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	H30	1 件	7 件	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数
6次産業化の推進	新	養殖サクラマス年間出荷数	H30	17,200 尾/年	40,000 尾/年	堀岡養殖漁業協同組合から報告
情報通信技術の活用	新	IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	H30	— %	30.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果(新規に項目を設ける)
	新R2	テレワークを実施している企業数	R2	— 件	増加	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	新	長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	H30	56.3 %	65.0 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
勤労者の福利厚生充実		中小企業退職金共済加入者数	H30	3,759 人	4,200 人	中小企業退職金共済から報告
人材確保に対する支援		人材確保充足数	H30	1,601 件	1,650 件	ハローワークで出している市内企業の求人に対し、求職者をマッチングした件数

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	数 値 目 標	純移動数(転入者数－転出者数) ※直近の5年間の累計	H30	△164 人	0 人 (均衡)	富山県人口移動調査による
	新	射水市観光ホームページ閲覧数	H30	332,298 件	600,000 件	観光協会が運営しているホームページの閲覧数(累計)
移住交流の推進	新	移住施策を活用して市外から移住した人数	H30	88 人	100 人	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数
住宅支援	新	指定宅地における住宅建築率	H30	41.9 %	50.0 %	指定宅地における住宅建築率
住宅相談・住まい情報の提供		住宅相談窓口年間相談数	H30	36 件	45 件	射水市住宅関連情報提供事業の一環として設置している住宅相談所での相談件数
空き家の有効活用		空き家の有効活用支援延べ件数 (サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)(累計)	H30	1 件	3 件	各種助成制度を活用し、空き家の有効利用を図ったものの延べ件数
	新	空き家情報バンクへの登録件数	H30	36 件	40 件	空き家情報バンクへの登録件数
観光資源の有効活用		ロケ地(川の駅)来訪者数	H30	45,835 人/年	50,000 人/年	川の駅新湊の入込数
		海王丸パーク周辺入込数	H30	1,767,400 人/年	1,850,000 人/年	海王丸パークときつときと市場の入込数の合計
関係人口の創出	新	継続的に射水市にふるさと納税をした人数	H30	295 人/年	320 人/年	3年以上継続して射水市にふるさと納税をした人数
	新 R2	市LINE公式アカウント友だち数	R2	— 人	25,000 人	市LINE公式アカウントの友だち数
スポーツによる交流人口の拡大	新	フットボールセンターの年間利用者数	H30	— 人/年	60,000 人/年	R3年度に建設予定のフットボールセンターの年間利用者数
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上		コミュニティバス等乗車人数	H30	418,572 人/年	450,000 人/年	コミュニティバスとデマンドタクシーの乗車人数
2次交通の充実		万葉線乗車人数	H30	1,192,041 人/年	1,200,000 人/年	万葉線の乗車人数
	新	小杉駅、越中大門駅の乗車人数	H30	1,557,708 人/年	1,642,500 人/年	あいの風とやま鉄道が発表する1日あたりの乗車人数×365日
高等教育機関、企業等と連携した学生の地元就職支援		市内企業に就職したい学生の割合	H30	50.7 %	70.0 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		学生訪問支援事業の参加学生の満足度	H30	97.2 %	98.5 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
学生の地域活動への参画	新 R5	まちづくりに参画した学生・生徒の数	R4	437 人	503 人	「射水市学生のまちづくり推進会議」の学生委員数、「いみず学生アイデアコンテスト一次審査」への応募学生数、「高等学校との連携事業」に参加した生徒の数の計(年間)
新たな学びの場の創出に対する支援	新 R5	新たな学びの場の創出に対する支援数	R4	— か所	2 か所	新たな学びの場の創出に対し支援した数

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標4 安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	数値目標	地域の支え合い体制の推進地域数	H30	15 地域	27 地域	地域支え合いネットワーク事業を実施している地域数
	新	まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	H30	45.5 %	50.0 %	まちづくり講座(まちブラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート
医療体制の充実と質の高い医療の提供		総合患者満足度数	H30	4.13 点	4.15 点	入院患者を対象に行っている満足度調査の結果
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現		防災士取得者人数	H30	109 人	162 人	防災士取得者数
		消防団員数	H30	707 人	757 人	消防団員数
低炭素・循環・自然共生による価値の創出	新	一人/日当たりのごみの排出量	H27	1,117 g	1,005 g	国報告値 ※9月議会で報告する場合、前々年度の実績値となる(各年度の国確定値の報告が翌年度の1月ごろになるため)
	新	リサイクル率	R2	20.9 %	22.1 %	
地域づくりの担い手育成、情報通信技術の活用による利便性の向上		まちづくり講座受講者数	H30	22 人	200 人	まちづくり講座(まちブラ、まちづくりセミナー等)への参加者数
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開	新	事業運営を担う中核的法人数	H30	— 法人	2 法人	老若男女が活躍できる「ごちゃまぜ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進		元気な高齢者の割合	H30	82.0 %	78.0 %	65歳以上人口のうち、要支援・要介護認定を受けていない者の割合
女性活躍の推進	新 R3	セミナー受講者の満足度	R3	— %	80.0 %	セミナー受講者に対するアンケート結果
	新 R3	女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	R3	— 件	20 件	補助金申請件数
多様性を認め合う共生社会の実現	新	多文化こどもサポートセンターの参加数	H30	176 人	200 人	多文化こどもサポートセンターの年間参加数
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化		見直しする公共施設の延べ件数	H30	32 件	42 件	廃止した累計の施設数
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化		ICカードの多目的利用延べ業務数	H30	4 業務	10 業務	マイナンバーカードを利用できる業務の数
	新	IoT活用延べ業務数	H30	— 業務	15 業務	IoTを活用する市の事業の数
	新	RPA活用延べ業務数	H30	— 業務	20 業務	RPAを活用する市の事業の数
	新 R2	テレワーク活用延べ件数	R1	— 件	360 件	市職員でテレワークを実施した件数(目標:テレワーク端末30台×12か月)
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進		呉西圏域で連携して取り組む事業数	H30	32 件	33 件	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき実施された事業のうち、本市が参加する事業数